

# 城南魂

正しい心  
美しい心  
粘り強い心

## 挨拶を大切にすること は人を大切にすること

みなさんは「挨拶」ができていますか？

私は朝校門に立って生徒の皆さんに「挨拶」をしますが、非常に気持ちのいい「挨拶」をしてくれる人がたくさんいます。具体的に言うと自転車を降りて、相手を見て、(立ち止まって)、元気よく「挨拶」をしてくれます。そんな「挨拶」をもらって、「今日も頑張ろう！」と私も元気が出ます。



挨拶の「挨」は、「心を開く」「拶」には、「相手の心に迫る」という意味があります。また、「挨」には、「軽くふれあう(誰とでも気軽に挨拶をする)」「拶」には、「重くふれあう(この人との出逢いは、この時だけかもしれないと思い、大切に、丁寧にしよう)」という意味もあります。

そんな想いを込めて、「自分から」挨拶ができる人は、「相手との関係を良くしようとしている人」であり、「人との出逢いを大切に考えている人」「相手をちゃんと認めている人」といえます。

そんな心のこもった挨拶は、必ず相手に伝わり、相手も必ず「心を開いてくれ、自分を応援してくれる」ようになります。

社会で働くようになると、また「挨拶」の大切さがわかります。毎日の生活の中でいろんな人と出逢い、いろんな人から支えられ、助けられるからです。

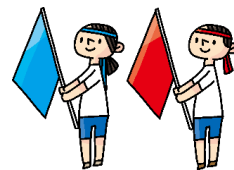
「挨拶の仕方」(自分から、元気よく、立ち止まって、笑顔で、+α)を学ぶことも大切ですが、「挨拶の心」すなわち「挨拶が大事だと思ふ、その心」

こそ大事です。やり方ばかり覚えていては、「先生が見ていないところでは挨拶しない」となり、だんだん「恥ずかしい」「面倒くさい」となりがちです。

「挨拶」のよさを理解し、自分の挨拶をよりよいものにしてきましょう。そうすれば、自分の人生もよりよいものになるはずですよ。

さて、ゴールデンウィークも終わり、いよいよ体育大会が近づいてきました。「体育大会で優勝したい」と思って頑張る学級や団も多いと思います。「優勝を目指す」という目標を持つことは大切ですが、もっと大切なのは体育大会の取り組みをきっかけに、どのような学級になりたいのかということです。学級全体が様々な場面で互いに協力したり、助け合ったりすることが自然にできるようになること、そのことに大きな価値があると思います。優勝を目指すうちにこのような変化がどの学級にも起こることを願っています。皆さんの一人一人の成長につながる、思い出に残る体育大会にしましょう。

暑くなってきました！熱中症には十分気を付けましょう。  
※水筒にスポーツドリンク可  
(体育大会練習期間中)、  
日焼け止め可(無色無香料)



～保護者様へ～

日頃より、本校の教育活動へのご理解・ご協力誠にありがとうございます。さて、近年、SNSによるトラブルが多く起こっています。生徒には「SNSでも自分の言葉や行動が相手を傷つけていないか十分注意すること。」と話をしております。ご家庭でも、今一度SNSを含めて、相手を傷つける発言や投稿をしないように話をさせていただきますよう、お願いいたします。